

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスモンテ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月10日		令和7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が安心感をもって通所できる環境設定	利用者の特性に応じて視覚的ツールの活用等を活用し、見通しや安心感をもちやすいよう配慮している。 行動障がいの方の安全確保として壁面や窓等に緩衝材を設置している。 刺激が苦手な方やゆっくり休みたい方のためにクールダウンができる部屋を準備している	各自の障がい特性を把握し、日々の観察を行いながら必要に応じた環境設定に今後も取り組む。 日々の観察からの気づきについて職員間での共有を徹底する
2	楽しみをもって通所できる活動プログラムの提供	本人の発達状況や気持ちに寄り添った個別活動と集団活動を組み合わせた計画の作成や支援をしている 毎日ブログの更新や月間予定表を配布し活動概要や行事予定等を発信している	活動場面での自己選択・決定機会の設定 色々な経験を積むことができる活動プログラムを提供し、興味・関心の幅や意識が広がるよう支援する。
3	保護者様が安心できる課題や情報の共有体制	保護者様からいただいたご意見に対してはその都度、事業所内で検討し改善に繋げている 服薬・アレルギー・体調面等の情報の事前確認と職員への周知徹底 毎日のブログの更新やSNSを活用し日々の様子をご家庭にお伝えしている	左記の取組を今後も継続して行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の意見交換や情報共有の時間の確保が充分でない	職員の勤務時間が合わせづらく全員での打ち合わせの設定が難しい 適宜打ち合わせをするようにしているが、送迎や記録等の残務があり現行の勤務時間ではサービス残業になってしまう。	月1回、職員が集まれる時間を早めから事前に調整し定期的に行えるようにする。 時間が合わせづらいこともあるのでSNSや連絡ノート等を活用した情報共有を積極的に行う
2	就学前の関係機関とのつながりが弱い	初回担当者会議に就学前に利用している機関が参加することがない為、就業前の関係機関との繋がりがもてていない。	相談支援事業所と連携し、就学前児童の初回担当者会議の際は就学前の関係機関も参加していただき、本人の就学前の状況や関係機関との繋がりがもてるようにする。
3	地域交流の機会が少ない	事業所が提供する支援が中心になっている為、地域の資源の活用がなく公園等で出会った地域の子どもたちと関わる等、限定的なものとなっている。	夏休みなど来所の時間が一律になる機関に地域の資源(児童館等)を活用し、こどもたちの状況を見ながら無理のない形で地域の他児との交流場面を広げていく。